

報告要旨

労働者の「心の健康」と労働生活

神戸大学大学院経済学研究科 山岡 順太郎

神戸大学大学院経済学研究科 小林 美樹

日本では労働者の精神疾患受療率が90年代末から急速に高まり深刻化しており、「心の病」が大きな問題となっている。労働者のメンタルヘルス悪化の背景にはIT化や産業構造の変化だけでなく厳しい経済環境の下での労働環境の変化がある。本稿では、労働者の心の健康状態について、特に職場環境との関連をJGSS2010年の個票を用いて検討した。得られた結論は次のようなものである。労働時間が長いことや通勤時間が長いことは有意に労働者の精神的な健康状態に負の影響をもたらしていることが明らかになった。一方で、職場において連帯感があることは、労働者の心の健康状態に正の影響を与えていることが示唆された。